

JUNIOR CHAMBER

魁け
～さきがけ～

愛するもののために、今、行動する。



INDEX

2007年度 各委員会 報告 1P~2P

2008年度 理事長所信、各委員長 基本方針 3P~4P

2008年度 会員紹介 5P~6P

2008
January

IIZUKA
Junior Chamber NEWS vol.52

ブロック会員大会誘致特別室



今年度当室では内藤理事長の下、会員一人ひとりがPOWER PEOPLEとなるべく2008年度第36回福岡ブロック会員大会の誘致活動を行ってまいりました。

20年振りのブロック大会主管に際し、会員大会とは何か？地域に対して何ができるのか？公益性とは？JCの存在意義とは？等を当室内では真剣に議論しました。幅広く深い議論を展開した為、事業計画そのものに対しては足踏みした感は否めません。自身の努力不足を痛感し、反省しております。

ブロック大会を知っていたらどう5月例会を担当し、また6月総会時にもプレゼンをさせていただきました。全員参加とまではいかないまでも、多数のメンバーにブロック大会を体感していただきました。また田川JC主管の実行委員会から参加させていただき、田川大会においては支援委員会と共に、準備から片付けまで初めて一貫して参加させていただき、来年への良い経験となりました。

次年度の準備が進むにつれて当室の役割は次第に飯塚実行委員会へと移行し、委員長に江藤君、事業部会長に山室君が就任しました。当室の場合はこれからが本番の事業ではありますが、最後までメンバー一同頑張ってブロック会員大会を大成功に導きたいと思います。

ブロック会員大会誘致特別室 室長 田 中 堅 治

光り輝く未来特別室

当特別室の目的は、光り輝く未来を実現させる為のまちづくり事業と創立55周年に向けての準備でした。まちづくり事業では、私たちが暮らすまちが素晴らしいまちだと再認識して頂き、自分のふるさとに対する誇りを取り戻して頂くきっかけを作る事を目標とし、事業前には長崎街道調査の為、現地長崎まで1泊研修を行い親睦を深め、当日の試験として3mのロールケーキを作成し、お菓子教室の試験の為、現地で当日と同じレシピを作り時間配分を検討する等、様々な準備を行いました。

当日、お菓子教室では、地元のパティシエ セゾンの杉岡さんとSONOKIの園木さんの技を目の当たりにして驚き喜ぶ参加者の子供を見ることができ、ロールケーキでは予想を遥かに上回るたくさんの方に参加して頂き大成功をする事ができました。

マップの作製も1軒1軒のお菓子屋さんを回る中でそのこだわりや味への思いを知ることができました。お菓子マップは飯塚市商工会議所より問い合わせがあり市内10ヶ所の観光ポイントにも配布いたしました。多くのマスコミ担当者の方に御賛同頂き、会場に来て頂いた方のみならずラジオ・テレビ・新聞を通じて多くの方々に、その思いを伝える事が出来たのではないかと思います。

55周年への準備は55周年のマークを7月頃から作成し、次年度に向かって講演者は決められなかったものの7月1日の創立記念日に会場を押さえ、思いの伝承をいたしました。



光り輝く未来特別室 室長 大 里 至

例会委員会



1月は今後一年を見据えたPR例会、2月はエリア合同例会、3月は市政を学ぶ例会、4月は委員会等の一致団結を図るスポーツ例会、5月はブロック会員大会について考え、一致団結を図る例会、6月は今後のJCについて考える例会、7月は例会の基本に立ち戻り、式典を大切にする例会、8月は親睦を図る家族例会、9月は出向について考え、セミナーを受ける例会、10月は薬害を題材に社会問題を考える例会、11月は青少年問題を考える例会、12月は式典のみの例会と、本年度例会委員会では12回の例会を実施致しました。

本年度の例会は『気付き』をテーマにやってきたつもりです。地味には思えたかもしれませんし、少し硬かったようにも思われますが、私としてはこの中のどれもはずす事のできない例会でした。今の飯塚JCに足りない物、考えるきっかけとなる題材を例会に取り入れたつもりです。

委員長 國 米 征 吾

三大行事委員会

(社) 飯塚青年会議所は来年節目となる創立55周年を迎える年にブロック会員大会を開催します。2007年度は我がLOMにとっても重要な準備の年にもなっております。

しかしながら、現在入会年数が浅いメンバーが多い我がLOMもまだ一人ひとりの意識が十分だとは言えません。ここでメンバー一人ひとりのリーダーシップ力を發揮する必要性が求められます。

創立記念においては今までリーダーシップを發揮してこられたシニアの先輩方と交流を深める絶好の日と当委員会では考えました。そして、この日に5名の歴代理事長をお招きし「飯塚JC魂の伝承～歴代理事長に聞く」(歴代理事長会議)を開催し先輩方のリーダーシップ力・飯塚JC魂を吸収する事業を行いました。

結果、パネルディスカッション形式で現役メンバーからも多数意見を出してもらい、また歴代理事長からも過去の飯塚JCの話を聞くことができ、熱い御意見・アドバイスを頂き、リーダーシップ力・飯塚JC魂というものを伝承できたのではないかと確信しております。

今後このリーダーシップをもってメンバーが地域社会で活躍することを期待しております。



委員長 今 井 光

報告 ● ● ● ● ● ● 2007 SLOGAN『夢 浪漫 感動』POWER PEOPLE

Jayceeづくり委員会



今年度当委員会では、従来の山笠活動に加えて新入会員を受け持つアカデミー委員会としての活動も行いました。山笠活動と致しましては、1月からの各流の新年会参加から始まりまして、毎月開催の振興会事務局会議、総会、振興会各委員会での活動、子供山笠教室、わっしょい祭り、追い山等、特に6月中旬より山笠が終わるまでは、ほぼ毎日作業に従事し、山笠を無事に成功させることができました。

また、10月14日に行いました灯明事業においては、新入会員と共にかなり早い時期より企画、準備を行いました。参加された多数の皆様に本当に楽しんでいただくことが出来ました。特に新入会員にとってはJCでしか得ることのできない経験ばかりだったと思います。

委員長 古田明裕

夢浪漫故郷づくり委員会

本年度、夢浪漫故郷づくり委員会の委員長を拝命し、地域の方々と共に、をテーマに一年間やってまいりました。委員会メンバーは委員会だけでなく、地域の諸団体の会合や行政が行なったワークショップへの参加など大変忙しい日程をこなしていました。

しかし、おかげで多くの方と出会う機会を持てた事は、私どもにとって大変有意義なものとなりました。事業として行なった、夢浪漫あふれる故郷づくり事業の10月に開催したワークショップにおきましては、延べ47名の諸団体の皆様や行政の職員様に御参加をいただき、大変内容のあるワークショップを行なうことが出来ました。またワークショップ発表会「考え方！夢浪漫あふれる故郷の未来」におきましても、多くの皆様の御協力なくしてはなしえなかつたものと考えます。この皆様とのつながりの輪を大事にし、今後も地域の方々と共に活動していくことの大切さを感じました。

また、今回委員長を拝命しその責任の重さを痛感いたしました。しかし、清水副理事長や野上副委員長、そして委員会メンバーが私のいたらないところをカバーし、助けてくれました。JCメンバーに助けられ、多くの方々に助けられ、なんとか一年間やりとげることが出来ました。

最後にご協力いただいた多くの皆様に感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

委員長 谷口正知



未来人創造委員会



初めて、つどいの広場、オアシスの子ども達に逢ったとき、「笑顔」さえ無く、目も合わせてくれませんでした。正直、不安でした。とにかく、子ども達の事を知る。これが、私たち未来人創造委員会に課せられた、最初のテーマでした。私たちは、この子ども達とバウンドテニスというスポーツで、年間通じて関わることで、だんだんと、子ども達の本当の気持ちが分かるようになりました。中学校の先生が嫌いで学校に行かない子。中学校で同級生にイジメられて学校に行けない子。一人ひとりが、色々な悩みを持っていました。私たち、未来人創造委員会は、理事長所信である「夢・浪漫・感動」をこの子ども達に、本気で伝えたい一心で、委員会メンバーと何度も話し合い、子供達の相談による事で心のキズを少しでも無くせたらと思い、真剣に取り組みました。

委員会でも、事業そっちのけで、子ども達の悩みについてばかり。私たちの発言が、子ども達をさらにキツつけることにならないか、どうすれば、解決できるか。バウンドテニスの時は、出来るだけ多くのメンバーで話しかけ、冗談も交えながら、いつも楽しい雰囲気で子ども達と接し、学生時代のことや、仲間とのことなど、自分達の体験などを沢山話して聞かせました。そうした事の成果かどうかわかりませんが、「高校には絶対行かない」と、言っていた子が、活動するうちに、「頑張って高校に行く」と聞き、メンバー全員で応援し喜びました。

未来人、掲示板製作事業で、子ども達が積極的に行動したこと、未来の為に少しでも役に立つモノを作り、商店街の方々に、喜んでいただいた事。この事は、子ども達の大切な思い出であり、誇りになったことでしょう。

世の中には、心にキズを負った子ども達がまだまだ、沢山います。この子ども達のキズを癒す事は、簡単な事では無い、本気で子ども達と向き合わないと、眞実は見えてこない事を、本事業を通じて痛感させられました。

当委員会の年間を通じて活動する方法は、子ども達と本気で向き合う為の1つのモデルケースになるのではないかと確信しました。

委員長 久保頼貴

総務情報発信委員会

総会の開催に関して委員会メンバーの出席率が悪く、少ない人数での運営でした。また、総会自体の出席率は60%台でしたので、次年度以降は出席要請強化が課題。会員拡大に関して情報収集不足の為、拡大が低迷した。また、退会者・休会者が相次ぎ、会員数増加につながらなかった。次年度以降は、会員の資質・意識向上に取り組むことも急務だと感じた。



ホームページの管理に関して

内藤理事長の積極的な取り組みにより、素晴らしいモノになった！？ 前年度より予算を増加したこととも一因？

メールマガジン配信に関して

途中で滞り・・・申し訳ございません。m(_ _)m

定款並びに諸規定の研究及び見直し等に関して

本年度の運営に支障をきたす様なことはなかったものの、賛助会員・休会規定等

今後、見直す方向での意見が出たが、見直すにいたらなかった。

総評・・・

一年を通じ、委員会の出席率の低迷は委員長として不徳のいたす所であり、自分自身の今後の課題として真摯に受け止め、次年度以降の活動に期する所であると考えます。

委員長 小山寛

55周年特別室

特別室長 大里 至



2008年、(社)飯塚青年会議所は、創立55周年を迎えます。その間、私たちの先輩方は時代に適した様々な問題に取り組むことで、青年会議所運動の幅を広げ地域に根付いた団体として育ててこられました。我々現役メンバーは55年の活動を支えて下さった地域の皆様、そして先輩方に改めて感謝し、明るい豊かなふるさとの実現させる情熱を胸に、55年間培った英知と勇気をもって、真に必要とされる活動を行わなければなりません。

そこで、55周年特別室では、様々な事業を通して、諸先輩方の輝かしい青年会議所運動を振り返り、同時に将来に向けての方向性を模索することによって、(社)飯塚青年会議所だからこそ出来るまちづくりや社会づくりの可能性を明確にしていきます。

この節目の年をきっかけに、JAYCEEが、地域のリーダーとして、いつの時代にも常に必要とされる団体となり、それを受けた会員個々の士気が高揚し、バランスの取れた相乗効果を生むことにより、更なる飛躍を遂げることが出来るものと確信いたします。

ひとづくり懇け委員会

委員長 坂平 順子



近年、非行や犯罪、いじめの多発、子どもをめぐる問題が深刻になっています。

私たちの子どもの頃とは違うような気がします。「おはよう」や「ありがとう」を言えない子どもたちや、近所の子どもたちに無関心な大人たち、「自分さえよければいい」という考え方をもった人が増えたように感じる今、私たち大人がしなければならないことがあります。

それは、「愛する心」「思いやりの心」「感謝の心」当たり前のようなこの気持ちを、次代を担う地域の子どもたちに、子を持つ世代の私たちが地域の親として関わり、コミュニケーションを図り、子どもたちの心の声を受け止め、育成活動「日本の魂（ここころ）」を伝承して参ります。

その上においても、JCのネットワークとノウハウを最大限に活用し、地域の子どもたちやボランティアの方々から必要とされる働きも同時に推進して参ります。

また、委員会におきましても、「ひとづくり」をキーワードにメンバーで助け合い、思いやり、強い意志(WILL POWER)をもって、一所懸命JC運動に取り組んでいきたいと思います。

総務例会懇け委員会

委員長 玉村 浩一



「みんなに逢いたい」

JCには、いろんなJAYCEEが一堂に会する場があります。それが総会であり例会です。

その場に出席してみんなに逢おう。逢えばいろんな話ができ、いろんな考え方や見方などの発見がある。その内容は、JC・仕事・家庭・趣味など様々です。そこでお互いの想いをもつて知れば、メンバー全員の結束力がさらに高まり、様々な事業を成功へと導いてくれるのではないかでしょうか。さらには、そのひとつひとつのがんばりが自分の新しい発見と成長へと繋がり、時代に懇け地域に懇けたJC運動の源となります。

今年度例会では、みんなに逢う楽しさ、みんなに逢う大きさを感じていただくなため、「みんなに逢いたい」をスローガンにJCに対する想いや知識・情報を共有化できる例会を目指します。

準会員オリエンテーションでは、JCにおける基本的な知識や情報はもちろんのこと、参加して体験する大きさ、人と出逢う楽しさを伝えています。

総会の運営・管理・総務関係諸業務に関しては、さらなる信用を得るよう厳正かつ確実に実施します。

まちづくり懇け委員会

委員長 溝口 栄仙



我が故郷、飯塚市・嘉麻市・桂川町が、生き生きと楽しく生活できるまちであるためには、豊かな心と行動力を持った人々の集まりが必要だと思います。この心を養うためには、2市1町にたくさんの人々が集い、人と人の出会いと交流によって育まれる感謝や尊敬の心、大らかな心、様々な要素で豊かな心が構成されていくと思います。

そのため、私たちまちづくり懇け委員会は、様々な視点からこのまちの特性を生かした産業・企業などに着目し、地域の人たちと共に色々なことを考え、今以上に活気溢れるまちに変わるように事業と、仕事にも生かせる経営開発研修をLOMのメンバーを対象におこないます。

このような事業を通して、技量や行動力をより一層身につけ、一人ひとりの思いや行動の大切さに気付いて頂き、一人でも多くのこの故郷に対して、志を同じくする人が増えるように努めています。

そして、このまちに住む人たちと共に豊かなまちづくりができるよう、委員会メンバーが率先して緻密な計画や作業に取り組み、一所懸命努力し事業を成し遂げた時に、リーダーとしての眞の自覚がえられるなど確信しています。私たち大人が、30年50年先の子どもたちや孫たちの時代のために、まちづくりといった社会への貢献に懇け励むことで、まちに活気が溢れ、人の心にも余裕ができる自然と人が集まってくれると思います。

そしてそのことを未来へ伝承し、未来の子どもたちや孫たちの世代において受け継がれ実践され、長い時間の中で循環されることにより、故郷に住む人々の精神的な明るさや豊かさも持続されると考え一年間邁進していきます。

2008年度 スローガン

魁け

～さきがけ～
～愛するものために、今、行動する。～

(社)飯塚青年会議所
第55代 理事長

赤間秀樹

JCI



◇JC魂の伝承 ~WILL POWER(意志の力が、夢を叶える)~

現在、私たちをとりまく環境は、非常に速いスピードで変化しています。(社)飯塚青年会議所が長い間推進してきた嘉飯山2市8町の合併は叶わなかったものの、その枠組みが崩れ、平成18年3月、2市1町へと合併を果たしました。このことは、まちの将来を考えると大きな一步であることに間違いありません。しかし、合併したからといってすぐには活力のあるまちに変わらないのは当然のことであり、地域間格差も大きく、経済状況が非常に厳しいうえに、少子高齢化や人口の減少などの問題が山積みされています。

一方、私たちの身の回りでは、凶悪化した犯罪や学校のいじめ問題など様々な問題が起こっていますが、これは今の社会全体に「とりあえず自分さえよければいい。」という自己中心的な考え方をもった人が増えたことも一つの原因かと思います。ものに恵まれた反面、座標軸(人としての生きる道)を見失い、人との結びつきや人を思いやる気持ちが非常に薄れた社会になったことを痛感させられます。まさに混沌とした時代。こんな時代だからこそ、私たちは自分たちの活動を今一度見直し、まちの将来をしっかりと見据えた取り組みをしなければなりません。今の(社)飯塚青年会議所はどうでしょうか。人や地域にとって本当に必要な活動ができるのでしょうか。事業の目的や趣旨をしっかりととられた活動ができるのでしょうか。そもそも、本当に地域から必要とされているのでしょうか。

(社)飯塚青年会議所は「有一誠(いっせいあり)」の武士道精神の下、昭和28年に設立されました。私たちの先輩は戦後の荒廃の中、ひたすら地域の発展のために時代に懇けた活動を誠実に行ってこられました。今よりも着る物や食べる物がなくても、生きる活力(ちから)と、人と人の強い結びつき、そして何よりも「自らの手で明るい豊かな社会を築きあげる。」という強い意志(WILL POWER)をもって一所懸命になって活動されたことが、地域社会、さらには、現在の日本の成長へつながったと思います。

私はこれからも愛するこのまちで生きています。もちろん愛する家族とともに、一生愛するこのまちで生きています。二度とない人生だからこそ、私たちは地域のリーダーであることを自覚し、愛する家族のため、愛するまちの将来のために、今、行動しなければなりません。

創立55周年を迎えたこの年、今一度創始の精神に学び、まちを愛して止まない気持ち、愛するまちのために情熱を注ぎひたすら行動する「JC魂」を引き継ぎ、地域経済の発展と次代を担うひとづくりのために行動する。時代に懇け地域に懇け、まちの将来は私たちの手で切り開くという強い意志をもって、愛するものために行動する。そこに(社)飯塚青年会議所の存在意義があると考えます。

◇JCの使命

日本においてJCが設立された当初、「個人の修練、社会への奉仕、世界との友情」がスローガンとして掲げられ、それが「JCの三信条」と呼ばれるようになりました。JCの使命とは、この「JCの三信条」そのものではないでしょうか。

まずは、自らの成長が企業の発展をもたらし、さらには、まちの活性化へつながることを一人ひとりがしっかりと自覚し、「個人の修練」に努める必要があると考えます。

次に、今の時代を認識し、しっかりとまちの将来を考え、今必要な活動を行う。若さと情熱・行動力で、まちの活性化のために行政と連携して活動する。周囲の団体の活動を理解し、共に手を取り、この地域に根ざした活動を行うことが「社会への奉仕」につながると考えます。

そして、姉妹JCである台東国際青年商会との友好をさらに深めることによって、「世界との友情」を育み、世界平和のための一助となると考えます。

この「JCの三信条」を追求しJC運動に取り組むことで、メンバー同士(同志)の眞の友情が生まれるものだと考えます。

◇喜びに変える

青年会議所運動は経験すればするほど人を成長させてくれます。青年会議所の活動を通して職場とは違う経験ができる、その経験は自分自身や会社そのものを高めてくれるもの。たくさんの人との出会いをもたらし、たくさんの人との思いや考えにふれることで、人としての幅を広げることができます。また、一つ一つの活動を、心を込めて取り組むことによって、その経験で得た成功や苦労など、すべてが自分自身の見識と資質を高めることになります。そのためには、まず何にでも一所懸命になれることが大切だと思います。一所懸命になって取り組めば、困難なことでも成し遂げることができ、その成功が自信につながることでしょう。また、一所懸命になればなるほど改善点や反省点も見え、次のステップとなります。つまり、失敗を恐れず、一所懸命にチャレンジしていくこと、このような経験は、すべて自分自身の財産になるはずです。

本年度、(社)飯塚青年会議所は創立55周年を迎えるとともに、第36回福岡ブロック会員大会を主管いたします。この事業で得るものは非常に大きい反面、苦労も伴うことでしょう。しかし、一所懸命になって取り組めば、苦労はやり甲斐へと変わり、やり甲斐を持って取り組めば、すべてがプラスに作用し、個々を成長させ喜びに変わります。

二つの大きな事業を行うこのチャンスに、メンバー一丸となって一所懸命に取り組み、すべてを喜びに変え、自信と成長の一年にしたいと思います。

基本方針

1. 公益性豊かで家族が楽しめる、魅力ある福岡ブロック会員大会の実現
2. 次世代に繋がる55周年事業の実施
3. 将来の飯塚JCを考えた会議所運営と会員が成長できる例会運営
4. 魅力ある組織に向かう会員拡大と情報発信
5. ひとづくりとまちの活性化に繋がる山笠運営
6. 地域経済の活性化を目指すまちづくり活動
7. 次代を担う子どもたちへの日本の魂(ここころ)の伝承

地域活力懇け委員会

委員長 藤原 昌直

『明るい豊かな社会を築きあげよう』これは、青年会議所活動の最大のテーマです。

しかし「明るい豊かな社会」の捉え方は時代と共に変化しますが、「築き上げよう」とする思いは、不变のものであり、行動する上の活力になると考えます。

本年度、私達地域活力懇け委員会では、この活力を私達が地域に発信し、この嘉麻の里全体が活力溢れる街となるように、懇けて行動します。

当委員会は、本年度入会される、会員の方々が所属する委員会です。まずは新入会員の方がJC運動に楽しく参加出来る様にサポートし、委員会内に留まらずLOM全体の事業へ参加を促すことで、それぞれのJC運動の意義を見出してください。

また、飯塚山笠振興会に出向し山笠の運営にも携わります。この市民祭飯塚祇園山笠は地域の活力が溢れる祭です。この山笠を地域の方々と協力して取り組むことで青年会議所と地域との連帯感をより強固なものにし、安全で厳正な運営に努めます。

また、当委員会では青年会議所以外の団体と交流も図ります。この交流を通じJCにおける既成概念に捕われない新しい風を取り込みその活動を理解し、同時に他団体に向けてJC運動の発信もしていきたいと考えます。

そして、これらのことを行なうことが、(社)飯塚青年会議所の活力の充実に繋がり、更には地域全体へと広がっていくものだと確信いたします。

ブロック会員大会特別室

特別室長 江藤 晃輔

2008年度、福岡ブロック協議会の最大の事業とも言える福岡ブロック会員大会は、我が(社)飯塚青年会議所主催にて行われます。

飯塚は地理的には、福岡の中心に位置し、まさに福岡の「へそ」と言つても良いでしょう。古くは、長崎から、内野宿・飯塚宿を通りひとが行き来し、日本の文化を育む拠点となった飯塚。きっと当時は、夢を抱き目的地へと歩み旅する人々で賑わい、まちのあちこちで「今のもちを考える。」、「國の今後を考える。」そんな壮大な思いがこの飯塚で行き交い、語り交わされたことでしょう。

このようないがまちで、県内各地より集まつた青年会議所会員、御家族の皆様、また地域の方々の真心が行き交い、愛を深め、それらを結ぶことこそ必要と考え、私たちは誠心誠意第36回福岡ブロック会員大会を開催致します。

自分たちのまちをより良く変える。福岡をより良く変える。九州をより良く変える。日本をより良く変える。これは我々では不可能なことでしょうか。

私たち一人ひとりの力は微々たるものかもしれません。しかし、LOMのメンバー全員が真心を持ってそれを結べば、大きな力となり、まちは変わります。

一つ一つのLOMの力は微々たるものかもしれません。しかし、21のLOMの真心を結べば、大きな力がうねりとなり、福岡は変わり、日本を変えることができる信じています。

より良い地域社会を自分達がつくる。そう本気で思う愛を持ったひとが一人でも多いと、必ずその方向に福岡が、日本が、前進していくことに間違いはありません。

時代は変わろうとも当時の志を、真心をそれぞれの地において縦に横に結んで活動してきた、21の青年会議所が今ここにひとつとなり、愛ある福岡、新たな日本を語り合える、そんな第36回福岡ブロック会員大会を「結ぶ」をテーマに開催いたします。

昨年度第35回福岡ブロック会員大会から、福岡ブロック会員とその家族の交流と学びの場としての大会から、公益性が強く求められ、地域の方々と一緒に創り上げる大会運営を求められるようになりました。本年度飯塚で主催する福岡ブロック会員大会も公益性を強く念頭におき、福岡ブロック会員とその家族が楽しめ、そして地域の方々に喜ばれる大会運営を、過去に開催されたブロック会員大会より、懇けて行ってまいります。

又、LOM内事業として、(社)飯塚青年会議所として継承して行ってお

広報懇け委員会

委員長 佐々木 英

(社)飯塚青年会議所は今年創立55周年を迎えます。創立以来多数の先輩方がJC運動に携わってこられました。その方たちが現役JCメンバー及び地域の方々へ伝えたい想いは数限りなくあることだと思います。

よって、まず、そのままの想いをJC魂を現役メンバーに伝え再認識していただき、さらにより多くの有志の方々へ伝えていくこと、すなわちJC魂の伝承こそが我々委員会の役割であると考えます。

また、現役メンバー現在のJC運動を広く市民・町民の方々に知つていただくようにすることも当委員会の重要な責務です。

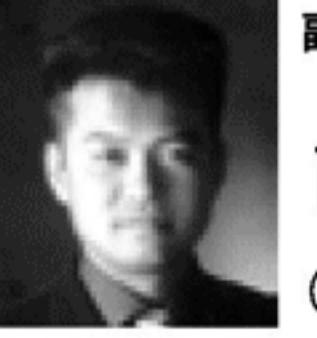
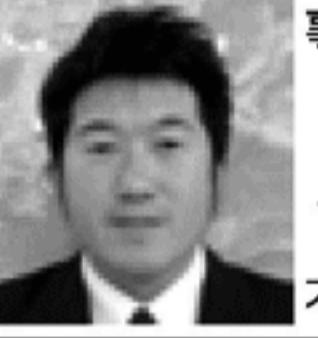
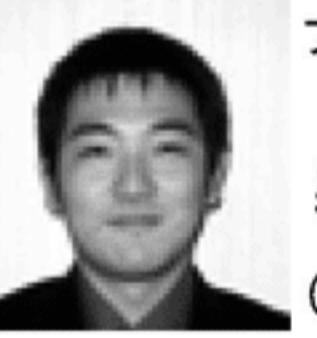
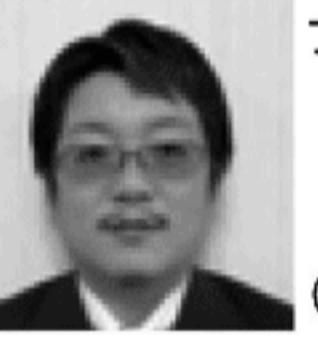
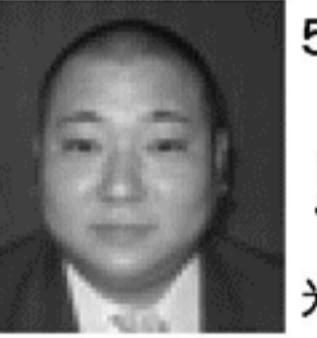
そのためにはまずはホームページ及びVOICEを用いた広報活動を行います。さらに日本JC等への優賞申請を通じて当LOMの活動を他LOMのメンバーに知つていただきJC運動のモチベーションアップにつなげます。

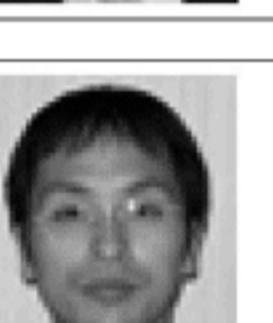
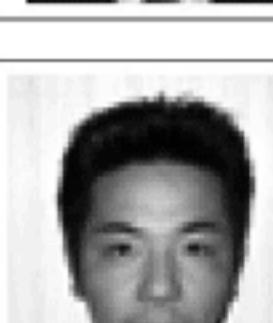
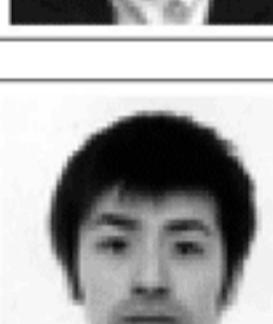
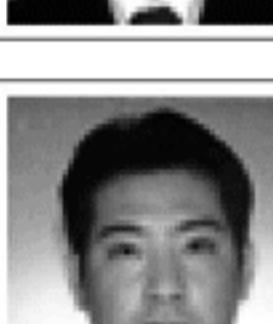
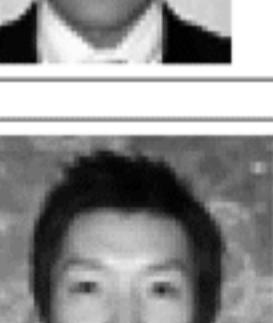
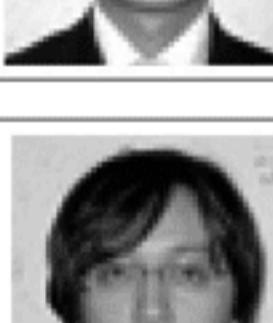
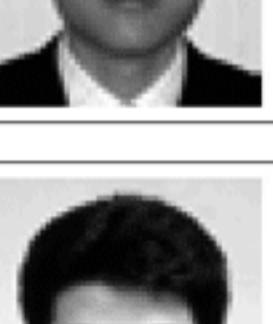
当委員会ではJC運動の有効な広報手段を研究し、(社)飯塚青年会議所全体及び各委員会の活動の広報についてアドバイス及びバックアップをすることを目的とするLOM情報広報支援活動も行っていく予定です。

実りのあるJC運動を維持していくためには会員数の維持・拡大が不可欠です。そこで、当委員会では会員拡大の手法としてONE・ONE運動を行ないます。ただし、それはいたずらに会員数を増加させるというものではなく、会員一人ひとりによるJC魂の伝承ということを念頭に置いていたONE・ONE運動をめざします。

本年度広報懇け委員会は「伝える」ということの大切さをもう一度よく考え、地域に対して、会員一人ひとりに対して、一つ一つ丁寧に(社)飯塚青年会議所の情報を発信してまいります。

JCI 2008年度会員紹介

	理事長 赤間秀樹 赤間登記測量事務所		直前理事長 内藤修也 (株)内藤園		副理事長 西田陽 (株)西田建設		副理事長 薦田豊彦 協和内装(株)
	専務理事 田中堅治 (株)福岡シービー		常任理事 亀田知左子 亀田屋クリーニング店		事務局長 藤木秀憲 フジキ印刷(株)		事務局次長 犬丸正嗣 犬丸損害保険事務所
	ブロック大会特別室 室長 江藤晃輔 (株)エトウ時計店		55周年特別室 室長 大里至 大里酒造(株)		総務例会担当 室長 戸田徹 カーコンビニ俱楽部 ソロ川津店		広報・地域活力担当 室長 久保井英樹 (株)クボイ
	まちづくり担当 室長 多田勉 (株)多田組		ひとづくり担当 室長 久保頼貴 久保自動車(有)		監事 清水大輔 (有)カーボナー飯塚		監事 太田常晴 おおた歯科・小児歯科
	監事 野上英敏 (株)のがみ		ブロック大会特別室 副室長 福永隆一 (有)花のフクナガ		ブロック大会特別室 桑野慎吾 (有)桑野電気工事		ブロック大会特別室 下川哲也 (有)ぱっぷDining
	ブロック大会特別室 畠中規一 (有)荒木食品産業		ブロック大会特別室 山室透 親和塗料		55周年特別室 副室長 福澤文聰 銀翼タクシー(株)		55周年特別室 石原孝司 SEIYU 誠友
	55周年特別室 岡村英生 (株)新興産業		55周年特別室 國米征吾 (有)インテリアコクマイ		55周年特別室 野中重司 光代自動車整備工場		55周年特別室 原田竜介 (株)サンレー飯塚松柏園ホテル
	55周年特別室 湊谷一弥 (有)酒のみなどや		55周年特別室 山本敬介 やまもと寿司		総務例会魁け委員会 委員長 玉村浩一 (有)コムレイド		総務例会魁け委員会 副委員長 岩本達也 (株)イワキン工業
	総務例会魁け委員会 伊藤芳邦 (有)ピーツー伊藤車輌		総務例会魁け委員会 今井光 ハート歯科クリニックまい		総務例会魁け委員会 岸田貴靖 三協技建(株)		総務例会魁け委員会 下野雅芳 (株)キューブス
	総務例会魁け委員会 谷口正知 (株)チクホーシーリング		総務例会魁け委員会 古田明裕 (有)筑豊美装		総務例会魁け委員会 米丸勝利 関西ブレーキ工業		広報魁け委員会 委員長 佐々木英 佐々木英司法書士事務所

	広報魅け委員会 副委員長 有馬 武文 (有)有馬クレーン		広報魅け委員会 有田 栄公 有田電気情報システム(株)		広報魅け委員会 小山 寛 (株)小山産業		広報魅け委員会 小玉 哲嗣 飯塚信用金庫(濁野支店)
	広報魅け委員会 長岡 敦史 (株)ジェイ・イー		広報魅け委員会 中川 民志 神崎建設(株)		広報魅け委員会 西野 幸彦 西野土地家屋調査士事務所		広報魅け委員会 宗高 元彦 SAMURAIホールディングス(株)
	地域活力魅け委員会 委員長 藤原 昌直 (有)嘉穂園芸		地域活力魅け委員会 副委員長 清水 幸浩 (株)瑞建工務店		地域活力魅け委員会 浅田 靖則 社会福祉法人 親孝会 太陽の郷		地域活力魅け委員会 片平 秀一 (株)三豊
	地域活力魅け委員会 小林 雄二 (株)ぱっちゃんじっちゃん		地域活力魅け委員会 堀池 豊 (株)麻生情報システム		地域活力魅け委員会 室井 秀行 (有)室井自動車工業		地域活力魅け委員会 木村 幸道 潤野保育園
	地域活力魅け委員会 堤 考史 (株)セレモニー 築豊葬祭		まちづくり魅け委員会 委員長 溝口 栄仙 一本松保育園		まちづくり魅け委員会 副委員長 高崎 英徳 (有)高崎クレーン		まちづくり魅け委員会 榎木 雅人 (株)サンテック
	まちづくり魅け委員会 岡村 智之 近畿大学		まちづくり魅け委員会 嶋田 透 麻生芳雄商事(株)		まちづくり魅け委員会 野上 早規 野上商会		まちづくり魅け委員会 日高 秀夫 衆議院議員麻生太郎事務所
	まちづくり魅け委員会 美林 直樹 居酒屋でぶしよう		まちづくり魅け委員会 森 浩昭 (株)玉置		ひとづくり魅け委員会 委員長 坂平 順子 新進工業(有)		ひとづくり魅け委員会 副委員長 小原 英範 (有)フジヤマ
	ひとづくり魅け委員会 副委員長 深田 陵市 (有)南星観光		ひとづくり魅け委員会 岡部 稔 有限会社 初音		ひとづくり魅け委員会 國武 裕仁 ネットム		ひとづくり魅け委員会 堤 秀光 (有)堤車両整備工場
	ひとづくり魅け委員会 中島 秀幸 飯塚信用金庫(篠波支店)		ひとづくり魅け委員会 西 竜太郎 (株)西組		ひとづくり魅け委員会 福澤 慶之 上嘉穂貨物自動車運送(株)		ひとづくり魅け委員会 吉岡 慎太郎 (有)吉岡スタジオ
	ひとづくり魅け委員会 渡邊 武 (株)筑豊第一木材市場		ひとづくり魅け委員会 江口 美穂 (株)アステックインタナショナル		ひとづくり魅け委員会 椿 重之 (株)中本不動産		ひとづくり魅け委員会 丸目 雅宏 (有)Q'zダイニング

2008年度 福岡ブロック会員大会

次は飯塚!!

2007年6月17日、(社)田川青年会議所主管で第35回福岡ブロック会員大会が、盛大に挙行されました。翌2008年度は、当地(社)飯塚青年会議所が主管致します。福岡の会員やご家族の皆様、さらに地域の皆様に対して、公益性を重視したすばらしい大会にしたいと、メンバー一同、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



社団法人飯塚青年会議所

会員募集



青年会議所(JC)は“明るく豊かな社会”の実現を理想とし、時代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの、指導者たらんとする青年の団体です。私たちは現在、国内714余りの都市に4万2千人余りの会員を、全世界123カ国地域に20万人余りの会員を擁しています。青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。私たちは市民社会の一員として、市民の共感を求めて社会開発計画に基づいた活動を行い、「自由」を基調とした民主的な指導能力の開発を推し進めています。

青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。

(社)飯塚青年会議所は、あなたの力を求めています！

私は、青年会議所について聞かれた時「青年会議所はまちづくりとひとづくりを行う団体です」と答えています。青年会議所はこのように考えています。家庭・学校・企業等、これらは全て「ひと」によって成長して行きます。そして、私達の生活している「まち」も「ひと」によって構成されています。青年会議所は40才までの団体であり、そのわずかな時間の中で「まちづくり」を行うことは大変難しいことです。しかし、いろんな事を経験し、体験することで「私」という「ひとづくり」を行い、「豊かな考え方」のできる「ひと」に成長すれば、それが「豊かなまちづくり」につながるのであります。青年会議所の活動は「もの」をつくる町づくりではなく、「ひと」をつくる町づくりです。青年会議所とは40才までにやり遂げる団体ではなく、入口なのです。

●対象者● 飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務先を有する20才から37才までの健全な方であれば男女を問いません。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

ブロック会員大会誘致特別室

■ 室長／田中堅治

■ 副室長／江藤晃輔

■ 委員／有田栄公・湊谷一弥・山室 透